令和6年度 第1回 国立大学法人奈良国立大学機構理事長選考・監察会議議事要旨

日時	令和6年5月10日（金）10時00分～12時00分
場所	奈良国立大学機構第一会議室及びオンライン参加
出席者	國枝委員、松本洋一郎委員、松本伸之委員、村岡委員、越野委員、和田委員、吉田委員、酒井委員、鈴木委員
欠席者	森川委員、大石委員、笠次委員
列席者	三野監事、大久保監事、三谷監事
事務局	榎本事務局長、沓澤事務局次長、向機構総務課長、林機構総務課課長補佐、野志機構総務課総務係員
議長	松本洋一郎委員

議事に先立ち、事務局より、議長選出までの進行を行うことの説明があり、委員の紹介を行った。続いて、第9回会議の議事要旨を確認し、これを了承した。

審議事項

1. 令和6年度における理事長選考・監察会議の運営について

事務局から、資料1-1～1-3により、理事長選考等に関する制度、及びスケジュールについて説明があった。

2. 議長の選出について

事務局から、国立大学法人奈良国立大学機構理事長選考・監察会議規程第5条に定める議長について、構成員の互選により選出願いたいとの説明があった。

委員から、推薦による選出について提案があり、松本洋一郎委員を議長として推薦する複数の意見が挙げられた。協議の結果、松本洋一郎委員を議長とすることとして決定した。

3. 理事長候補適任者の探査の進め方について

議長から、理事長候補適任者の選定について、理事長選考規程（資料2-1）第5条の規定のとおり、本会議自ら候補者を探し、選考する方法をとっており、理事長選考基準（資料2-2）のとおり、奈良国立大学機構の経営方針におけるミッションを踏まえたビジョン、目標・戦略を実現するための資質・能力を有する者を選考することとなっている旨の説明があった。

続いて、信任調査の要否について、議長から、昨年10月に開催した本会議では学内外の委員により構成される本会議内で議論を尽くすことにより、学内の意向を十分に踏まえて議論されるため、信任調査は不要ではないかとの意見交換が行われたが、令和6年度委員への送付事項となっている旨の説明があった。

信任調査については、委員から、現理事長である榎理事長の信任に関する調査であるのか、との確認があり、議長からは、本会議で選考した次期候補者について学内へ信任を問う調査であり、現理事長の再任を本会議が決定した場合には、榎理事長に対して行う趣旨である旨の説明があった。

候補適任者の探査については、委員から、選出母体である教育研究評議会に持ち帰って意見を募ることは可能であるか、との確認があり、委員からは、探査の過程で各委員が自らの判断で他者に意見を聞くことは問題ないが、会議内での発言につ

いては守秘義務が生じるとの意見があり、関連して、理事長選考は社会に対して説明責任を負い広い視野を持って機構全体をガバナンスする者を選ぶことが使命であるため、学内をガバナンスし構成員から選ばれる学長（大学総括理事）の選考とは性質が異なること、国立大学法人ガバナンス・コードの補充原則に則り、本会議において徹底的に議論を尽くすことで学内の総意を反映し、本会議の責任のもと選考することになるのではないかと、との意見があった。

現理事長については、委員から、教職員が現理事長の考えや成果を把握する機会が乏しいとの意見があり、事務局から、昨年度3月に実施した理事長の業務執行状況確認の結果の公表については、機構ホームページへの掲載に加えて、教育研究評議会においても情報共有を行う等、公表方法を見直すとともに、今後理事長と両大学の教職員とのコミュニケーションがより円滑に進むよう努めたいとの説明があった。

これらの意見交換を踏まえて、議長から信任調査の可否についてあらためて議論したいとの発言があった。

委員からは、候補者に対する賛否を問われた場合、守秘義務の点から、構成員に候補者の氏名を公表して意向を聞くことはできないため、選考過程や議論の内容を公表せずして、構成員に対して説明責任が果たせるのかという懸念が残るが、本会議から付託されたものだとするのであれば、然るべき方法を考えて意見を表明したいとの発言があった。これに対して、委員からは、会議における守秘義務の問題や、候補者のプライバシー保護の問題があるため、本会議内で議論を尽くすほかないとの意見があった。

委員からは、選考のプロセスが見えることが第一であり、発信できる情報については学内の諸会議で共有するなど構成員が納得できるような進め方が望ましいとの発言があった。

種々の意見交換の結果、信任調査は行わず、本会議において徹底的に議論を尽くし、本会議の責任のもとで選考することとした。

議長から、理事長候補適任者の探査の具体的方法について、選考基準を満たす該当者がいる場合は、その者の所属・氏名を6月10日までに事務局を通して議長まで報告いただきたいこと、事務局でとりまとめた後、速やかに各委員に情報共有を行い、次回会議において理事長候補適任者の絞り込みを行いたいことの説明があった。なお、探査を行う際、現時点での本人の内諾を取る必要はないが、理事長候補適任者とは、今後、選考の手続きに必要なやりとりが生じることから、各委員からコンタクトが取れる者としていただきたい旨の説明があった。

4. 国立大学法人奈良国立大学機構役員等に関する規程の一部改正について

議長から、国立大学法人奈良国立大学機構役員等に関する規程の一部改正について協議したいとの発言があった。

事務局から、理事長選考・監察会議規程第4条第1項第5号に基づき、資料3のとおり、理事長が欠員になったときの大学総括理事の任期について、第7条第3項に追記する旨の説明があり、協議の結果、原案のとおり承認した。

5. その他

事務局から、資料4により、今後の開催スケジュールについて説明があった。

委員から、理事長候補者を文部科学大臣へ申し出た後のスケジュールを次回会議において示していただきたい旨の発言があった。

以 上